

議会だより

平成18年11月1日
発行/関川村議会
発行/議長 近 良平
責任者
編集/広報対策
特別委員会

〒959 3292 新潟県岩船郡関川村大字下関912番地 TEL(0254)64-1494(直通)
FAX(0254)64-3006



伝統農法で育てた “コシヒカリ”の稲刈り

土沢小学校

9月定例会報告

一般質問 3名登壇

常任委員会視察研修

村民の声

(議会だよりは村ホームページの議会事務局に掲載しています)

9月定例会

国民健康保険特別会計補正予算

1億4,450万円追加

総額 7億6,750万円

17年度をすでに12%増



各種予防教室へ積極的に参加しましょう！

第六回村議会定例会は、九月十三日から二十六日までの十四日間の会期で開催されました。
一般質問は三議員で、理事者の考えを聞きました。
提案された議案は、報告四件、承認一件、条例一部改正一件、村道路線廃止一件、補正予算六件、工事請負契約一件、発議案一件、請願一件、陳情二件で、いずれも可決、採択されました。

国民健康保険条例一部改正

平成十八年十月一日から施行

七十歳以上で一定以上の所得がある方の医療費自己負担割合の変更
二割 三割

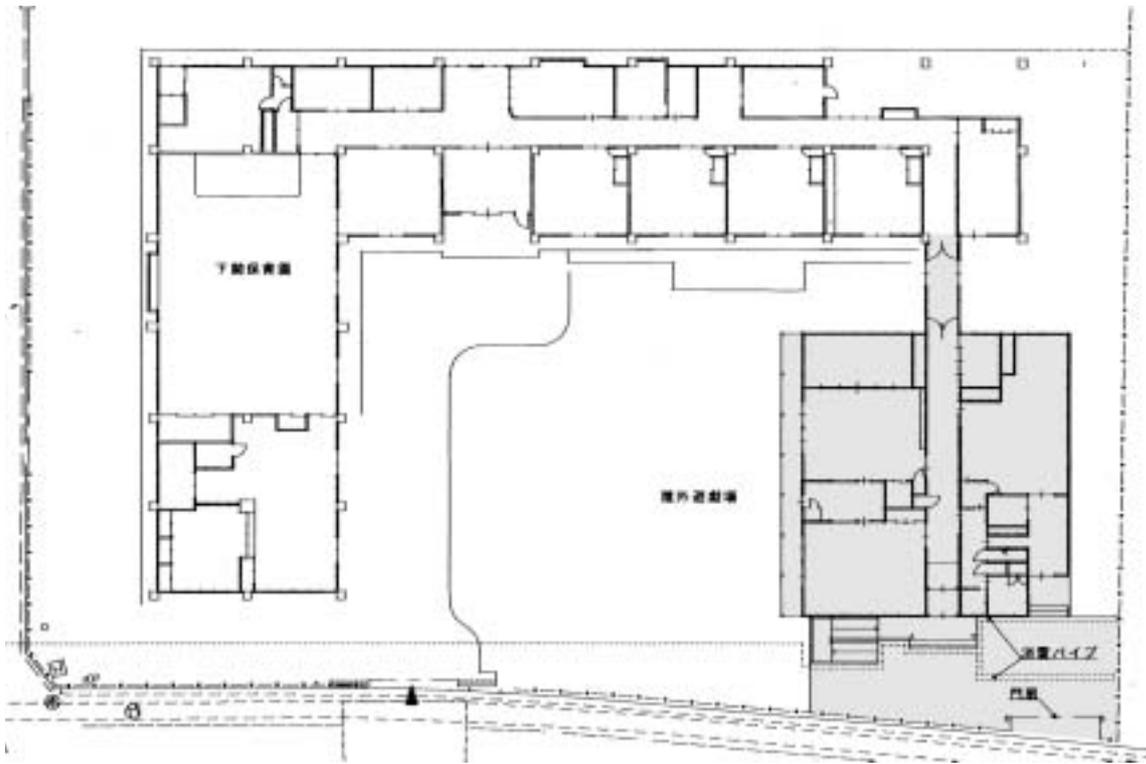
出産育児一時金の支給額の引き上げ
三十万円 三十五万円

葬祭費の支給額の引き上げ
三万円 五万円

補正予算

補正予算 (単位：千円)

	補正額	総額
一般会計	166,200	4,549,560
国民健康保険特別会計	144,500	767,500
老人保健特別会計	574	832,065
介護保険特別会計	48,760	695,886
公共下水道特別会計	1,000	1,017,200



下関保育園増築は建築法の一部改正により、図のように変更になりました。

請負契約の議決

下関保育園増築（建築工事）工事
 契約金額 六千七百二十万円
 業者 株式会社 渡辺組

発議案

道路特定財源に関する意見書

道路は都市部と地方部の交流・交易
 基盤として、必要性はますます大きく
 なっています。

本村においては、山間特別豪雪地帯
 と過疎地域をかかえており、雪崩や地
 すべりによる道路災害も多く、この防
 止対策によって安全な日常生活道の確
 保を図るとともに、地域高規格道路
 「新潟山形南部連絡道路」を軸として
 一般国道から幹線市町村道に至る道路
 ネットワークの整備により、地域の振
 興と日常生活の利便の増進を図ること
 が緊急の課題です。

よって、地方における道路網整備の
 実態とその必要性を認識され、その財
 源を確保する道路特定財源制度を堅持
 し、地方の道路整備が遅れることにな
 りよう強く要望します。

請願

重度、最重度の知的障害者(児)
 を受け入れられるグループホーム
 △設置を求める

空き家等を利用した重度、最重度の
 知的障害者(児)を受け入れてもらえ
 るグループホームを村上市岩船郡内に
 設置することを求める請願を採択しま
 した。

陳情

「集配局の廃止再編計画に反対
 する意見書」採択を求める

地域住民の合意と納得を得ない集配局
 の廃止再編は行わず、離島や僻地、中山
 間地の郵便局を維持し、現在の集配局機
 能の存続を求める陳情を採択しました。

公立高校と私立高校の学費と教
 育条件の格差解消をめざし私立
 高校の公費（私学助成）増額を
 求める意見書提出を求める

学費と教育条件の公私格差解消を図
 るため、私立高校への公費（私学助成）
 増額を求める陳情を採択しました。

一般質問

一、品目横断的な経営安定対策の実態は
カバー率は全体の約二十七パーセントです。

津野庄衛 議員



津野議員 来年度から担い手に限定して交付金を出す「品目横断的な経営安定対策」がスタートするなど「農政大転換時代」が幕を開けようとしています。本村においてもすでに行政、農協と協力のもと、対応に努力していることと思えます。

平田村長 経営面積四ha以上、集落営農で二十ha以上が対象です。現在、個人五十八件、百九十二・五一ha、法人では三件、五十五・三haとなっています。全体のカバー率は約二十七%です。なかなか進まないのが現状です。

また、小規模農家に対する対策については、国の対策が見えていませんが、稲作構造改革促進交付金を新設するとしています。

来年度から生産調整が農協に移行します。村としても意欲をもっている農家については、国、県の制度を利用して積極的に支援していきます。

農林業の活性化は村の活性化に直結します。産業振興全般でいろいろな対策を進めたいと思っています。

二、小学校統合実現にむけての進捗状況は
開学を平成二十二年四月に予定しています。

津野議員 小学校統合については、以前も質問しましたが、その後の経緯等、今後の課題、建設目標年度についてお伺いします。

平田村長 新設の学校は各学区の皆さんと懇談を重ねた結果、現在の関小学校と考えています。そして、新設小学校の開学を平成二十二年四月に予定しています。それには二十年、二十一年、を建設期間とします。

野沢教育長 平成十七年九月から推進活動に入り、村内PTAの役員、各学区の保護者と懇談を重ね、その必要性を説明して理解を求めてきました。そして、今年

の二月から四月の中旬まで、各コミュニティ住民を対象に懇談会を開き、統合への協力をお願いした結果、

三、都会の人に田舎体験を 首都圏住民を対象にモニターツアーを実施します。

津野議員 今年度、総務省では本村及び山形県小国町

スクールバスの送迎で安全な学校生活を実現してもらいたいという声がたくさんありました。

次に課題について
関小学校の耐力度調査により危険校舎の認定
校舎の建設計画（仮校舎の有無）
校舎整備計画構想委員会の設置（事務局も含め委嘱済み）
校名、校歌、校章、校旗
校舎の跡地利用をどうするか、これについても委員会を作り（地域部会・庁内のプロジェクトチーム）検討します。

今後、学校統合委員会、学校創立委員会、跡地利用検討委員会等を設置し、それぞれ進めていきます。

これは、地域を活性化するモデル事業で首都圏の住民を対象としたモニターツアーや自然体験イベントを開催するとしています。

本村の事業計画をお伺いします。
平田村長 本年度から具体的な事業に取り組んでいます。これまで温泉に泊まつた方や村人会員、ふるさと会員、地元関係団体などへそれぞれの立場で交流居住に対するアンケート調査を実施しています。

一、行政組織改革実施の効果は

目的に沿うよう指導、努力します。

渡辺健作 議員



渡辺議員 関川村自立計画のうち、行政組織改革を平成十七年四月より実施しておりますが、行政組織変更により、村民はどのような評価をしているか。職

ターツアーは十月二十六日から三十日までの四泊五日を予定しています。募集人員は五組十名です。初日は村の概要説明と観光、生活関連施設の視察を行います。二日目は滞在施設の視察と各種の体験プログラム、三日目は自由行動または農業体験や交流会、最終日は意見交換を予定しています。三泊は村内温泉旅館、一泊は農家を計画しています。今回のモデル指定を段階として、更に交流事業を進めていきたいと思っています。

員はスムーズに対応でき、不平不満は無かったか。事務の効率は上がったか。教育委員会事務局はいつ統合するのかお伺いします。

平田村長 行政組織の改革は自立にむけた村の方策の一つであり、六課から五課に集約した結果、当初村民の中にも戸惑いはあったがデメリットについては承っています。職員の対応も初めはスムーズにいったわ

けでなく、課の分掌の範囲が拡大され、少ない人数で横断的に助け合うために班という考え方で改革したわけですが、まだ自分のセクションについて自分の仕事はここまでという考えも残っており、仕事の分量も平らになつていません。事務効率については評価するものさしが行政では持つてないので客観的に判断しにくいものがあります。今後

も指導、努力はもとより職員にも意識の改革を促進していきます。教育委員会の統合の時期は、小学校の統合

の時期を目安にしているが、前倒しもありうると思っています。

渡辺議員 職員の数を百人以下にするといわれていますが、現在何人で百人以下になるのはいつ頃ですか。

平田村長 職員の数は百二十二人で平成二十五年以内に百人に近づけます。

渡辺議員 今年度より電話が直通になり、職員の対応もよくなった理由は、平田村長 月一回職員研修を、勤務時間終了後約一時間実施しております。

一、実質公債費比率を下げる努力を

効率的な財政運営に努めます。

渡辺議員 総務省は自治体の財政健全度を示す新しい指標、実質公債費比率が政令指定都市を除く市町村で、十八%以上になると地方債の発行は県の許可が必要となります。新潟県は九市町村で十八%を上回っております。本村は何%ですか。

平田村長 実質公債費比率は過去三年の平均が十七・三%です。村が起債をする

設けられています。本村の実質公債費比率は今後上がる事が予想されます。十八%を超えると考えられます。その要因は様々ありますが、下水道整備に伴う起債の償還もその一つであり、これを抑えるためには加入率を上げることが重要な課題です。

一、わかぶな高原スキー場の再契約は

早急に取り組みたい。

渡辺秀雄 議員



渡辺議員 平成十八年第二回定例会での一般質問で、スキー場の再契約はあるかとの質問に、村長は来年六月で二十年の契約が切れること、年々スキー人口が減ってきて経営が難しくなっていることを挙げ、再契約はないと答弁されました。しかし、八月の議会全員協議会では一転、今後も運営していきたいとの方針を示

渡辺議員 近隣市町村の実質公債費比率は、村上市十九・七%、荒川町十六・九%、神林村十六・六%、朝日村十五・九%、山北町十二・四%、粟島浦村十一・一%、本村は村上市に次ぐ高さです。超えない努力は、平田村長 十八%以下を目標に努力をします。

されたがその理由をお伺いします。

平田村長 スキー場の再開を申しあげたのは方針の転換ということになります。スキー場の原形復旧に責任のある三井住友建設の意向は五月現在では、村から文書で原形復旧をしてほしいとの連絡があれば撤去工事を早急に行います。ただし契約期間満了後の申し入れについては、村の責任で対応して貰いたいということでした。八月になって「村が希望するのであれば原形復旧の工費を金で支払ってもよい」とのことだったので再開に踏み切りま

した。ただし地権者さんの了解があればです。

二、国民健康保険に係る財政調整交付金に対する取り組みは

渡辺議員 国保の財政調整交付金は、昨年度から国に代わって県が配分する支援交付金制度が発足したが、この交付金の一部は市町村の健康増進事業の取り組み状況によって交付される金額が違ってきます。村ではどのような取り組みをしているのかお伺いします。

平田村長 村では次の二つの組織を作つて健康増進に取り組んでいます。一つ目は村民を委員とする健康づくり推進協議会。二つ目は庁内職員メンバーで構成する健康づくり事業推進委員会です。この二つの組織が昨年度、健康せきかわ21を策定し、これに基づいて健康づくり事業を展開してい

が第一条件です。経営戦略を決めて優良企業に育てて行くのが使命だと思います。平田村長 契約期限も迫っているので早急に正式な契約ができるように取り組んで行きます。

ます。栄養と食生活、運動と身体活動、たばこを三本柱として、ラジオ体操、ウォーキング、健康登山や各種の検診栄養講座、スロウフード等多岐に渡つて活動しています。村民誰もが健康で生活できることは医療費の削減、交付金の増加など多くのメリットがあります。渡辺議員 本村の昨年度の交付金は県内五十一市町村中、第十三位です。トップの津南町では一人当たりの交付金二千二百三十円、最下位の寺泊町が六百六十二円、村が千八百六円と大きな開きです。取り組みを更に強化し、健康づくりに努めて県内第一位を目指してほしいと思います。

報 告

平成18年7月20日

総務厚生常任委員会

石川県内灘町

「少子高齢化社会に対応した町づくりと健康づくりについて」

概 要

内灘町は、石川県の中央部、加賀地区と能登地区の境に位置し、西に日本海、東に河北潟を擁した砂丘地にあり、北はかほく市、南は金沢市に隣接しています。面積は二十・三八、海拔最高五十八、町域には山や河川がない典型的な海岸砂丘地帯です。

人口は二万七千人余りで、金沢医科大学、大学病院があり、日本海側有数の病床数を誇る病院として、内灘のランドマーク的な建物群となっています。団地造成を拡大して若者の定住を進めています。(金沢市まで車で約十分、地の利を生かしています)

取 り 組 み

内灘町次世代育成支援地域行動計画

今後進めていく子育て支援対策の方向性や目標を総合的に定めるものです。

実施にあたっては、行政、家庭や地域、保育園、幼稚園、学校、企業等が次世代支援(子育てを社会全体で

支援すること)の視点に立ち、一体的な施策の推進を図っています。

基本的な視点

「子育て」「親育ち」「家族育ち」を支援する視点。

支援を求める親に対しては補助的な支援でなく子供を中心に置いた支援をしており、親育ち、町民の意識改革の視点を中心としています。

基本理念

「子育て、親育ちを温かく見守り支える内灘づくり」地域の輪を広げていくよ

うな支援を目指しています。

重点プロジェクト

CCMC(チルドケアマネジメントセンター)の設立、子育て支援ネットワークの構築に重点を置いています。

実現に向けて

計画期間は平成十七年から十年間、前期・後期に実施、点検、公表、検証をします。

計画の周知

ホームページ、広報、子どもには小学校での総合的な学習の時間や、地域活動



内灘町役場会議室

等を通して周知しています。

庁内推進体制の確立

庁内各部門の個別対策についての評価、再調整等の継続的な取り組みをしています。

町民・関係団体等との協働体制の確立

地域協議会を開き、計画の進捗状況、情報の共有化、施策、事業の評価等に提言を頂き、町民・関係団体等の協働により推進しています。

ま と め

内灘町も少子高齢化の進



内灘町議会議長から説明を受ける

展に伴い、医療・福祉の充実が重点課題となっていました。町民の健康保持と増進は、町発展の基盤と考えていました。食生活、スポーツ奨励、生きがい意識など多様な健康づくりをテーマに健康に満ちた町づくりを進めていました。

県都金沢市のベッドタウン的存在で現在一千戸の分譲開始など、今後の発展への大きな基盤を築いています。(自立の町を歩んでいる)

視 察 研 修

産業建設常任委員会

福井県坂井市三国町 野中生産組合

「水稲たん水直播栽培と先進的な集落営農について」

概 要

野中水稲生産組合は、ほぼ全員が兼業農家という野中集落（総戸数二十三戸、農家二十一戸、非農家二戸、水田面積約三十五ha）で、住民が団結して地域の稲作を守っている組合です。平成九年より準備し、全戸参加の作業受託組織を経て全面協業経営に発展し、平成十七年三月に特定農業団体に認定されました。

取 り 組 み

平成二十年から二十一年頃には法人化を目指す予定です。

一般に、価格がよほど高くない限り、水稲で収益を挙げるのは難しいとされるため、新しい技術とセットになった省力を目指す組合は、田植え及び収穫時の人員削減、作業の分散化等を図るために、平成十四年度より直播「コシヒカリ」

に取り組んできました。

直播の効果は一目瞭然で、作業者数が削減できただけでなく、時間効率が非常に向上したため、時間も気持ちもゆとりが生まれたとのことでした。

本年より「ハナエチゼン」の全面直播に切り替え、また、減々栽培にも取り組んでいます。

高精度の機械で直播し、協業で行い、地代と管理費（畦畔、水）等は地係に委託しています。組織で生産される農産物



野中集落センターでの説明



野中集落の水田視察



野中水稲生産組合の直播機

ま と め

はすべてJAへ出荷し、平成十七年度より全面プール生産をしています。

直播は雑草と鳥害の防除が大変であり、直播後はハウス育苗のような管理が望ましいとのことでした。

北海道産の安い米が売れている現状の中、農業者の高齢化対策等、野中水稲生産組合は今後進めなければならぬ集落営農などの良い参考となりました。

村民の声

「日々是好日」

新野 洋子さん

(南赤谷)



庭のもみじ

何百年の樹齢というもみじの大木。私が嫁いできた時はうつそつと茂っていた。近年、大風のたび、雪が積もるたびに、枝が落ち、危険極まりなくなり、とうとう伐採した。

なぜか寂しく名残惜しく飾り台にできるように切ってもらい、いろいろな物をのせて我が家の玄関に色取りをそえている。

運動免許

今春より孫が村上の学校へ通うことになった。親は勤めもあり送り迎えもままならず。

「バアちゃん、迎えて。」ということになりかねない。そこでふと思った。「これは大変なことだ。事故を起こしたら、自分とはもかく、孫に怪我でもさせたら...」おじけづいた私は『免許なし』が一番だと思った。今春、私は書き替えだった。免許センターへ免許を返しに行った。係りの人が曰く。「本当にいいのですか。年をとつたら皆こうだと高齢者の事故が減るのになあ。ありがとう。」

今、孫は、支援バスのお世話になっている。

老いじたく

自分の老いをしみじみ感

じさせられることが多くなつた。精神的な面とはまあまあとして(自分としては)肉体の衰えは情けなく感じる程だ。

まず、歩く速度が落ちた。ちよつとの段差に「まずき「オットット」」。溝を飛び越えようと思つてもうまくいかない。

何年前、吉沢久子さんの「自分らしく楽しく老いる」という話を聞いた。「老いじたくは旅したくのように楽しみながらするもの。予定表を見たり、荷物支度をしたりして旅行の半分くらいを楽しむように、老年期に入る前に入る楽しみをもつことです。」とのこと。

今の私は、きめこみ・和紙人形・和布の小物作り・てまり...、暇を見てはわくわくと材料を求め、道具を開く日々である。完成した作品はあちらこちらへともらわれていく。

創り上げる喜びは楽しく生きていることを実感させてくれる。自分らしく楽しく老いを生きる道を歩みはじめているようにも思つが、足りないものがある。それは体を動かすことである。注意・注意といつとこらだ。

自衛隊から感謝状

十月五日、自衛隊新潟地方協力本部庁舎に於いて、自衛隊新潟地方協力本部長一等陸佐深津孔様から、近良平議長に、関川村自衛隊協力会及び村上・岩船地区自衛隊協力会連絡協議会の発足に尽力し、また、自衛隊の各種事業に多大な支援をしたとして感謝状が贈呈されました。

また、十月八日、新発田駐屯地に於いて、新発田駐屯地司令一等陸佐山中敏弘様から、中倉虎治議員と伝信男さんに、村上・岩船地区自衛隊協力会連絡協議会の発足に尽力したとして感謝状が贈呈されました。

関川村自衛隊協力会は、平成十六年八月二十二日に発足し、現在の会員数は、個人会員 百二十二名、法人会員 五団体です。村上・岩船地区自衛隊協力会連絡協議会は、本年三月二十一日に発足しました。

《編集後記》

下関保育園の増築工事請負契約が可決されました。金額は、六千七百二十万円、契約業者は株式会社渡辺組です。将来保育園の統合を見越しての増築と受け止めであり、早い時期の統合が待たれます。

小学校の統合についても地域、保護者の皆さんの理解が得られたことから、平成二十一年度を目標にすめており、複式学級の解消、

多くの友達との交流など児童にとつても大きな効果が期待できます。新校舎は現関小学校地内になる予定です。

十月から十一月にかけては農林業祭、堀と柳の秋まつり、文化祭と関川村の文化、芸術、食欲の秋でにぎわいます。村内外から多くの方々が訪れていただきたいものです。

渡辺(健)